



NOFUZO

関空一周ヨットレース岬町長杯ヨットレース レース委員長 古賀正行

第6回関空一周ヨットレース無事終了することができ、参加者の皆様、運営にたづさった皆様ありがとうございました。

レース前夜

天気予報では、3日、4日と荒れる天気で、雨も降る。運営側とすると、明日からのレース風速10メートル、波高1メートル以上であれば、中止の案内が必要かもしれないと考えながら、3日の朝を向かえる。

岬町長杯ヨットレース

淡輪沖は南からの風で、さほど強くは無い。昼から噴出すであろうと想定する。朝のうち何とかレース成立させるよう海面に向かう。

オフセットマーク

昨年まではプラクティスレース練習レースで賞は出なかったが、今年は岬町長の協力があり、優勝者には町長杯が授与される。ありがたい事に50艇の参加艇のエントリーがあった。

レースは70分で1レグ約1マイルほどのレースになり、1上の混乱が想定され、①マークの横にオフセットマークを設置した。何回かのゼネリコ後にスタートした頃には風がすこし強くなり、①マーク回航後は混乱無くオフセットマークを回航する艇を見て、成功を感じた。その後ますます風が強くなり3レグでショトニングフィニッシュとなる。

関空一周ヨットレース

朝8時30分に合わせスタート海面に向かう77艇の船の多さには圧巻である。昨日からの風はまだ残っていてヨットにとっては天気もよくヨット日和である。スタートは混乱無くスタートした。

先頭艇が関空橋をスピンで抜け、第2マークを回航し第3マークに向かう頃風が一時とぎれ、クロスと潮の影響があるのか、スピードが乗らない、だがその後とんでもない強風が吹き横倒しになるヨットが続出し艇のコントロールに奮闘していたようだ。

5月の風は吹いたり吹かなかったり、きままな季節ですが、ここ数年は風に恵まれていたが、今年は軽風から、強風とまた、色々な海面に遭遇し、よいセーリングであったと思います。

最後に

今回のレース参加手続きで、一部エントリーでパソコンの環境の違いで、送信できなかったり、最後のレース集計の不手際で成績発表が遅れたりし、運営側とすると大いに反省するところがありますが、レースを終わって皆様の笑顔を見ると、満足されたのだと、反省と、やり切った満足感で胸が一杯になりました。大勢の皆様に支えられて無事終了しました、ありがとうございました。



岬町長杯レース
ABCクラス優勝
linkworks



岬町長杯レース
IRCクラス優勝
Star of Bethlehem



岬町長杯ヨット
レース強風下の
スタート



本部艇



大荒れで
大活躍の
レスキュー